

# 山形県感染症発生動向調査

令和3年第4週(令和3年1月25日~令和3年1月31日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486 URL http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/ 2021年2月3日 発行



#### <定点把握感染症>

株式   株式   株式   株式   株式   株式   株式   株式	<定点把握感染症》	<u>屋感染症&gt;</u>										<ul><li>◎ :警報レベル</li></ul>			0						
第3週 第3週 第4週 階域 第3回 第4週 階域 第3週 第4週 階域 第3週 第4週 階域 第3回 第4回 图3回 图3回 图3回 图3回 图3回 图3回 图3回 图3回 图3回 图3	车 串 名	全国	Д	Ⅰ形県		山形	市保健的	听	村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
インフルエンザ 64 3 0.01 0.07	// /IS I	第3週	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第3週	第4週	増減	第1~4週
1 カッルエクザ   0.01   0.07   △	インフルエンザ定点(定点	医療機関数)		(45)			(9)			(10)			(4)			(9)			(13)		
小児科定点 (定点医療機関数) (29) (5) (7) (3) (6) (8)   日本	インフルエンザ	64			٨								1	٨		1	٨		•	_	4
RSウイルス感染症 652 0.21 0.21 0.20 0.60 公 4 4 4 0.57 0.57 0.33 公 6 3 マ 7 1 マ 5 4 8 0.13 マ 5 4 8 5 4 日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0.01			1												1			Δ	
RS アイルス感染症   O.21   O.21   O.22   O.60   O.60   O.57	<b>小児科定点</b> (定点医	療機関数)		(29)			(5)			(7)			(3)			(6)			(8)		
四頭結膜熱 732 18 12 7 0.20 0.60 △ 4 4 0.57 0.57 0.57 0.33 △ 6 3 7 7 1 7 0.88 0.13 ▽ 5 8 8 18 0.11 0.07 0.10 ○ 5 0.00 0.40 ○ 7 0.40 0.40 0.40 ○ 7 0.40 0.40 ○ 7 0.40 ○	RSウイルス成染症																				1
四頭結膜熱	ハラフトルスルボル	0.21																			·
A群溶血性	<b>咽頭結</b> 膜熱	732	18		$\nabla$	1		٨	4	-			•	٨	6		$\nabla$	7	1	$\nabla$	54
大学   1.66	PELPANTINA MIN	0.23	0.62	0.41	•	0.20	0.60	_	0.57	0.57			0.33		1.00	0.50	•	0.88	0.13	•	5 1
大型	/ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	2237	48		•	7	_	•			٨						•		-	_	189
京楽性育勝灸   2.91 3.72 4.69   1.40 3.80   4.43 4.43   1.00   11.00   11.00   0.50 2.13   4.3	レンサ球菌咽頭炎	0.71	1.66	1.86		1.40	1.60	_	1.57	1.71	1				4.83	5.00	1	0.13	0.50		103
水痘   3.72   4.69   1.40   3.80   4.43   4.43   1.00   11.00   11.00   11.00   0.50   2.13     水痘   344   2   3	咸染性胃陽炎	9164			•	7		٨					_	٨						٨	430
水痘   1	心未任日肠炎	2.91	3.72	4.69	•	1.40	3.80	4	4.43	4.43			1.00		11.00	11.00		0.50	2.13	Δ	750
手足口病     162     1     0.05     0.03     0.13     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     0.03     <	水痘	344	2	3	^		2	٨				1		$\nabla$				1	1		12
手足口病     0.05     0.03     A     O.17     A       伝染性紅斑     44     2     V     2     0.33     V       突発性発しん     1162     18     18     2     1     0.40     0.20     0.43     A     1     V     5     9     A     10     5     0.83     1.50     A     1.25     0.63     V     6	小田	0.11	0.07	0.10	۵		0.40	1				0.33		•				0.13	0.13		12
伝染性紅斑	<b>手足口病</b>	162		1	_											1	٨				5
伝染性組斑 0.01 0.07 マ 0.33 マ 0.33 マ 0.33 マ 1162 18 18 2 1 マ 3 Δ 1 マ 5 9 Δ 10 5 マ 6 0.40 0.20 マ 0.40 0.20 マ 0.43 Δ 0.33 マ 0.83 1.50 Δ 1.25 0.63 マ 6 0.40 0.20 マ 0.40 0.20 ロ 0.40 0.20 マ 0.40 0.20 マ 0.40 0.20 ロ 0.40 0.20 ロ 0.40 0.20 マ 0.40 0.20 ロ 0.40	TEHM	0.05		0.03	Δ											0.17	Δ				
実発性発しん     1162 18 18	<del>仁</del> 沈胜红斑	44	2		٦										2		1				2
笑発性発しん 0.37 0.62 0.62 0.40 0.20 V 0.43 Δ 0.33 V 0.83 1.50 Δ 1.25 0.63 V 6	14米11年11月	0.01	0.07												0.33		٧				
0.37 0.62 <b>0.62</b> 0.40 <b>0.20 0.43</b> 0.33 0.83 <b>1.50</b> 1.25 <b>0.63</b>	ウみ州祭」 /	1162	18	18		2	1	$\nabla$		3	^	1		$\nabla$	5	9	٨	10	5	$\nabla$	62
	大光は光しん	0.37	0.62	0.62		0.40	0.20	· V		0.43	Δ	0.33		٧	0.83	1.50	Δ	1.25	0.63	1 ~	02
	^ II .//° - / +" _ +	91	3	1		1		$\overline{}$	2	1	$\overline{}$										6
0.03 0.10 0.03 0.20 0.29 0.14	ヘルハンキー)	0.03	0.10	0.03		0.20		V	0.29	0.14	٧										0
125 2 2 1 1 1 1 1 1	法怎些女工的火	135	3	2	1	1	1			1					1		1	1		_	
流行性耳下腺炎	流行性耳下脉炎	0.04	0.10	0.07		0.20	0.20			0.14	Δ				0.17		٧	0.13			6
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数) (8) (1) (3) (1) (1) (2)	眼科定点 (定点图	医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)		
急性出血性結膜炎 3	<b>马州山布州</b> 红带火	3																			
思性品皿性粘膜炎 0.00	念性山血性粘膜炎	0.00																			0
354-M-G-4+0#-1/4 120 1 1 1 1	ン大く二 kt 45 v t ロ サック	120	1						1		1										2
流行性角結膜炎	流行性用結膜炎	0.17	0.13		•				0.33		V										3
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数) (10) (2) (2) (1) (2) (3)	<b>基幹定点</b> (定点图	医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)		
成执州田坦火 3		3																			
(ロタウイルス) 0.01	(ロタウイルス)	0.01																			0
5>\\\\-\-\-\-\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	6>>"n+//	1																			
クラミジア肺炎 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.0	クラミジア肺炎	1.00						•													0
_ (_ 0_ 0_ 0_ 19	_	19																			
マイコプラズマ肺炎   19 0.04   10   10   10   10   10   10   10	マイコブラスマ肺炎	0.04			-			-													0
	\m_++ \r\L \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	7																			
細菌性髄膜炎   ' <sub>0.01</sub>   -	細菌性髄膜炎	0.01						1												1	0
	(																				
無菌性髄膜炎 0.02	無菌性髄膜炎							1												1	0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

#### <全数把握感染症>

報告なし

#### <通信欄>

※インフルエンザ型別(迅速診断キットによる)

A型:3件

## ※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム の運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象 外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。 (QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)

※警報・注意報の基準値

疾患名	警報 し	注 意 報	
大 忠 石	開始	終息	レベル
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数に ついては別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPを ご覧ください。

#### <定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	合計
											1				
インフルエンザ	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									3
		1				1									
小児科定点	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱			10	1	1										12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3	6	12	8	2	3	3	6	9		2	54
感染性胃腸炎		3	21	16	19	13	12	11	7	2	6	20	1	5	136
水痘						1		2							3
手足口病						1									1
伝染性紅斑															0
突発性発しん		3	14	1											18
ヘルパンギーナ								1							1
流行性耳下腺炎						1				1					2

#### < 令和 2年 12月 月報 >

2021年1月27日 発行

疾 患 名		山用	彡県	山 形 市保 健 所		村 山保健所		最 上保健所		置 賜保健所		庄 内保健所		累積 (県)	
			12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	11月	12月	1~12月	
STD定点 (定	点医療機関数)	(1	0)	(3)		(	1)	(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	15	10	9	6		1	2	1	1	1	3	1	174	
	定点当り	1.50	1.00	3.00	2.00		1.00	2.00	1.00	0.50	0.50	1.00	0.33	174	
性器ヘルペスウイルス	報告数	8	13	1	2		1	1	2	5	4	1	4	84	
感染症	定点当り	0.80	1.30	0.33	0.67		1.00	1.00	2.00	2.50	2.00	0.33	1.33	04	
尖圭コンジローマ	報告数	1	3	1	1						1		1	18	
	定点当り	0.10	0.30	0.33	0.33						0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数		1		1									27	
	定点当り		0.10		0.33									21	
<b>基幹定点</b> (定	点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌 感染症	報告数	2	7	1	2			1	2				3	54	
	定点当り	0.20	0.70	0.50	1.00			1.00	2.00				1.00	54	
メチシリン耐性	報告数	20	14	3	1	2	2			2		13	11	221	
黄色ブドウ球菌感染症	定点当り	2.00	1.40	1.50	0.50	1.00	1.00			1.00		4.33	3.67	221	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													2	
	定点当り														

#### <トピックス>

## マスクの効果について

新型コロナウイルス(COVID-19)が猛威を奮う中、さらなる 感染拡大を防ぐためにマスクの着用が強く推奨されています。 マスク着用の主な目的は、会話や咳による飛沫の飛散や吸い 込みを防ぐこと。近年の研究では、飛沫を出す側と吸い込む側、 両者の距離やマスクの着用状況、マスクの素材(性能)によって も、防御効果に大きな違いが生まれることが分かっています。 マスクについて正しく理解し、適切に使用することで、より一 層の感染予防対策を徹底していきましょう。

### <マスク着用の有無と聞き手がウイルスを吸い込む量の関係>

※話し手と聞き手、両方がマスクを着用していない場合を基準として、 以下の場合の、聞き手が吸い込むウイルス量を調査。

#### ● 聞き手だけがマスク着用



聞き手(吸い込む側)のみがマスク をした場合、聞き手がウイルスを 吸い込む量は減少する。 マスクの種類により効果に差が

#### ② 話し手だけがマスク着用



話し手(吐き出す側)のみがマスク をした場合、聞き手が吸い込む量 は布マスク、サージカルマスク共 に70%以上減少する。

❸ 両方がマスクを着用



- ・両方がマスクをした場合、聞き 手が吸い込む量は布マスク、サ ージカルマスク共に70%以上 減少する。
- マスクの種類により効果に差が ある。

ess of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2 Hiroshi Ueki, Yuri Furusawa, Kiyoko twatsuki Horimoto, Masaki Imal, Hiroki Ka mSphere 2020. DOI: 10.1128/mSphere.00637-20

出典:内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室HPより一部改変